

令和7年度室蘭開発建設部総合評価審査委員会（第2回） 審議概要

開催日時 及び場所	令和8年2月19日(木) 13:30～15:30 室蘭開発建設部1階大会議室	
委員	<p>ありむら みきはる 有村 幹治 (委員、室蘭工業大学 教授)</p> <p>かわむら しま 川村 志麻 (委員、室蘭工業大学 教授)</p> <p>したむら みつひろ 下夕村 光弘 (委員長、苫小牧工業高等専門学校 教授)</p> <p>わたなべ あきお 渡辺 暁央 (委員、苫小牧工業高等専門学校 准教授)</p> <p style="text-align: right;">(敬称略、五十音順)</p>	
議事次第	<p>1 開会</p> <p>2 部長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 総合評価落札方式、プロポーザル方式の実施結果について</p> <p>(2) 個別審議</p> <p>(3) その他</p> <p>4 閉会</p>	
質問・意見	回答	
<p>(1) 総合評価落札方式、プロポーザル方式の実施結果について</p> <p>(2) 個別審議</p> <p><工事事後審査></p> <p>① 苫小牧港東港区周文ふ頭土砂運搬盛土工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案内容の評価を4段階評価としているが、入札説明書には「不可」は記載されておらず、評価に該当しないのではないか。 ・CPDにおける加算対象工事区分を当該工事に該当する工事区分とした方が良いのではないか。 ・混合処理はどこの土を使用し、どの場所で行うのか。 ・提案内容に対する評価は、まず提案内容の評価をし、その上で確実性の評価をし、優・良・可・不可の評価をしている。 <p>課題③で7番社の評価において、提案内容は一般的とし、確実性が高いことから良と評価しているが、提案内容が一般的であれば、いくら確実性が高くても「可」より高い評価にはならないのではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・報告に対し了解を頂いた。 ・入札説明書により「優及び良」と「可」の定義及び「不可」と表現した経緯と理由について説明し、了解をいただいた。評価の記載方法については今後、わかりやすくなるよう検討したい。 ・CPDにおける加算対象工事区分については、今後検討したい。 ・混合処理にて使用する土、混合場所について説明し、了解を頂いた。 ・提案内容に対する評価について説明し、了解を頂いた。 	

<p>・課題①について7番社のみ確実性が高いことから優の評価としているが、評価根拠は、一般的ではないか。</p> <p>② 鵜川改修工事の内旭岡地区河道掘削外工事 ・7番社の提案で非評価としている箇所の説明をして欲しい。</p> <p><業務事後審査></p> <p>③ 苫小牧港外1港施設整備検討業務 ・技術提案書評価のうち、実現性の評価理由を説明して欲しい。</p> <p>④ 日高自動車道新ひだか町外動植物調査業務 ・技術提案書の文字サイズについて、文字サイズは決まっているのか。</p> <p>・技術提案の評価で、B社・C社では評価している提案内容が、A社では評価していない理由を説明して欲しい。</p> <p>・技術提案の評価で、B社では評価していない提案内容をD社では評価している理由を説明して欲しい。</p> <p><その他></p> <p>・苫小牧港外1港施設整備検討業務と日高自動車道新ひだか町外動植物調査業務で評価基準に差がある理由を説明してほしい。</p> <p>(以上)</p>	<p>・7番社の評価根拠について説明し、了解を頂いた。</p> <p>・7番社の提案で非評価としている箇所について説明し、了解を頂いた。</p> <p>・技術提案書評価の実現性の評価理由について説明し、了解を頂いた。</p> <p>・技術提案書の文字サイズについて説明し、了解を頂いた。</p> <p>・技術提案の評価で、B社・C社では評価している提案内容が、A社では評価していない理由について説明し、了解を頂いた。</p> <p>・技術提案の評価で、B社では評価していない提案内容をD社では評価している理由を説明し、了解を頂いた。</p> <p>・評価基準について説明し、今後、統一的な評価基準とするか検討したい。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	
<p>なし</p>	

※入札参加者の提案又はその評価に係わる内容については、技術提案に関する機密保持の観点から記載しておりません。